

# 参考資料編

- I 和光市の主な地域文化資源
- II 市民文化団体意識調査結果
- III 基本方針ができるまで
- IV 和光市文化振興基本方針策定委員会

## I 和光市の主な地域文化資源

### ■考古資料・遺跡

土器（縄文式、弥生式、土師器、須恵器）や石器などが、市内に点在する遺跡から多数発掘されています。

新倉の満願寺そばにある小高い丘は午王山と呼ばれています。ここで発見された午王山遺跡は、数度の発掘調査で市内では最初に稲作を始めた人々が住んでいた集落のあったことが明らかになりました。同遺跡では、弥生時代中期から古墳時代・平安時代にかけての遺構が重なって出土しています。



どき  
土器



せきぞく  
石鏃



ごぼうやまいせき  
午王山遺跡



まるやまだいいせき  
丸山台遺跡

### ■歴史資料・史跡

板碑や古銭、鰐口、五輪塔のほか、古文書が数多く残っています。

永代地方目録覚は、徳川家康が伊賀衆に給地として与えたいきさつと領地の所在が書かれています。

宗門人別帳は、江戸幕府がキリスト教を禁止して、すべての人が寺院に属するように定めて登録させた「登録簿」を指しま



いたび  
板碑(市指定文化財)



こせん  
古銭

す。家族全員、奉公人にいたるまで、旦那寺の名・名前・年齢・続柄などが記載されていたので、戸籍の役割も果たしました。市内には上新倉村と下新倉村のものが数冊残されています。

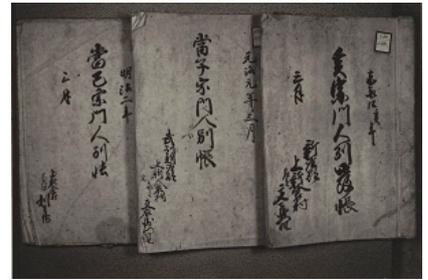
かつての朮庵は、江戸時代後期に上新倉村の旧家鈴木家が建てたと伝えられています。当時の庵主は、江戸の文人と交流するほどの人で、狂歌師鹿都部真顔や狂歌師で戯作者でもある大田南畝(蜀山人)などが訪れたといわれています。



わにぐち  
鱈口(市指定文化財)



えいたいじかたもくろくおぼえ  
永代地方目録 覚  
(市指定文化財)



しゅうもんになべつちょう  
宗門人別帳  
(市指定文化財)



ごりんとう  
五輪塔(市指定文化財)



うけらあん  
現在の朮庵

## ■建造物

市指定文化財である旧富岡家住宅は 300 年前に建てられた民家で、外環道建設地にあたったため、現在地に移築されました。これまでの調査などから江戸時代中期の 17 世紀後半に建築されたものと推定されます。江戸中期の特徴を多く持ち、近隣でも歴史的に古い方に属しています。平成 18 年 6 月に新倉ふるさと民家園として開園以来、伝統文化や地域に伝わる季節行事等を体験学習することのできる場として多くの市民に親しまれています。



きゅうとみおかけじゅうたく  
旧富岡家住宅(市指定文化財)



ながやもん  
長屋門

和光市に現存している長屋門は2棟あり、その一つが代々下新倉村の名主をつとめた柳下家のものです。身分の制限が厳しかった江戸時代に、武士以外に門を構えることができたのは名主など限られた階層だけでした。

左側の門柱には、一揆のときの刀傷が残っています。

### ■美術工芸品

市指定文化財である甲冑は、下新倉の名主をつとめた柳下家に伝わるもので、室町時代末期の頃のもものと推定されています。

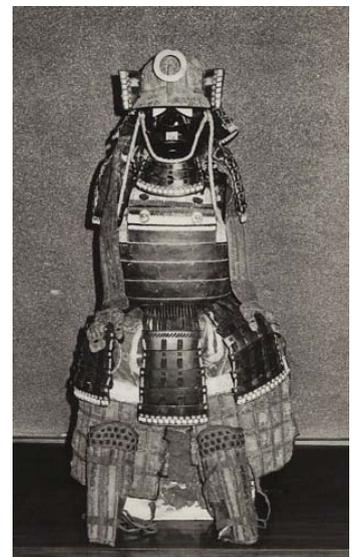
市内には他にも江戸時代の屏風や絵巻、水墨画や印籠などが残っています。



いんろう  
印籠



へんかく  
扁額



かっちゅう  
甲冑 (市指定文化財)

### ■民俗・民具・芸能・行事

吹上観音の裏手の小高いところにある百庚申は、庚申塔（庚申信仰を記念して講員が建てた碑塔）が百数十基並んでいるもので、親庚申塔と134基の子庚申塔からなっていて、全国的にも珍しいものです。

さら獅子舞は、和光市でただひとつの獅子舞で、毎年下新倉氷川八幡神社に奉納されます。室町時代の元龜3年(1572)に始まったと伝えられ



ひゃくこうしん  
百庚申 (市指定文化財)

ています。

大獅子、中獅子と雌獅子の3つの獅子頭を使い、太鼓をたたき、水引幕をひるがえして舞います。

厄除け・豊年祝い・安全祈願など、下新倉の当時の村の生活の中から生まれ、強い信仰によって支えられてきました。昭和11年(1936)から太平洋戦争をはさんで39年(1964)まで休止されましたが、地元青年会に受け継がれて復活し、古式通りに奉納されています。

白子囃子は、江戸時代末期に白子宿の柴崎音次郎という人によって始められ、現在は7月26日の諏訪神社祭と、10月第1日曜日の熊野神社祭に奉納されています。14代将軍家茂のときには、江戸城に招かれて賞賛を受けるほど発展しましたが、幕末の混乱で影をひそめ、昭和の初めに関係者の尽力が実って復活しました。

その後、太平洋戦争で再び中断しましたが、昭和54年(1979)、市の教育委員会により「白子囃子後継者育成講座」が開かれて復活し、現在に至っています。



ささら獅子舞(郷土芸能) (市指定文化財)



白子囃子(郷土芸能) (市指定文化財)

## ■天然記念物・自生植物

新倉の長照寺の境内にある大いちょうは、市の天然記念物に指定されています。推定樹齢が約700年といわれ、近郷随一の老樹です。幹まわりは7.5m以上あり、高さは約29mもある雌株の大木です。



ヒロハアマナ

ヒロハアマナは、低湿の原野に生える花で、植物学者牧野富太郎氏により、谷中川に面した台地の際に自生しているのが世に知られるようになった。河川改修のため自生地はなくなりましたが、ヒロハアマナは新倉ふるさと民家園の庭へ移植され、来園者に親しまれています。

(市指定文化財)

おお 大いちょう (長照寺)



## ■社寺

和光市内、特に北側の地域には、10 を越える神社や寺があります。



にいくらひかわはちまんじんじゃ  
新倉氷川八幡神社

新倉氷川八幡神社は、旧上新倉村の氏神様で、社伝によると、弘安年間(1278～88)の創設といわれています。だるま市や例大祭では、大変な賑わいをみせています。

台月山壹鑑禅寺(曹洞宗)は、江戸時代の寛永年間(1624～43)に開かれた寺で、開基は、領主の旗本酒井耆岐守忠重です。忠重の墓は境内の墓地にある五輪塔で、市の有形文化財に指定されています。



だいげつざんいつかんぜんじ  
台月山壹鑑禅寺(曹洞宗)

## ■地名・道・湧水

和光市を横断している川越街道は、川越と江戸を結ぶ道として、3代将軍家光の川越仙波東照宮参詣に際して寛永10年(1633)に完成しました。川越街道は、時代によって経路にも変遷があり、和光市域だけをとり上げて3つのルートがあります。

1つめは国道254号線(バイパス)、2つめは一般県道新座・和光線のことと国道の「川越街道」に対して「旧道」とよばれることもあります。そし

て3つめの道が白子宿を通る江戸時代の川越街道です。東京方面から来ると、成増の新田坂から白子川を越え、滝坂の手前で直角に曲がって大坂を登り、昼間も暗い浅久保のくらやみ坂を下る険しい道でした。

和光市では台地の末端部から各所に湧き水が湧き出し、白子地区や漆台地区では古くから湧水が生活に利用されてきました。特に白子では良質の水が各所に豊富に湧きだし、江戸時代から水の豊富な白子宿として栄え、昭和の初めまでその面影を残していました。明治時代には湧水を利用した養漁場が熊野神社の境内に作られたこともあります。また湧水は白子川の水とともに水車に利用され、精米、製粉を行ったり、製紙工場の工場用水として



きゅうかわごえかいどう  
旧川越街道



白子地区の湧水



うるしだい  
漆台の湧水

利用されたりしてきました。現在も湧水を生活の中で利用している家庭がある一方、場所によっては水源が干れたり、水の汚染によって飲み水として利用できなくなったりしていますが、市内各所で湧き水文化が今も息づいています。

## ■和光市ゆかりの文化人

### 〈童謡詩人 清水 かつら〉

日本を代表する童謡詩人である清水かつら(本名・桂)は、明治31年(1898)7月1日に東京本所小名木川(現在の深川)で生まれました。大正12年(1923)の関東大震災で家屋・家財を失ったかつらは、母の実家のある新倉村(現在の和光市)に身を寄せ、その後、白子村(現在の和光市白子)に移り住むことになりました。

昭和26年(1951)7月4日、病気でこの世を去るまで、この地で武蔵野の自然と子どもの純真さを愛して作詩した数々の童謡は、多くの人々に親しまれています。

代表作に「叱られて」「靴が鳴る」「雀の学校」「みどりのそよ風」などがあります。



しみず  
清水かつら

### 〈児童文学作家 大石 真〉

日本を代表する児童文学作家である大石真は、大正14年(1925)12月8日、白子村(現在の和光市白子)で生まれ、昭和34年(1959)に移転するまで居住していました。

早稲田大学在学中に早大童話会に入会、作家への道を歩みだし、卒業後は出版社に入社し、昭和42年(1967)に退社するまで編集者、また編集長として活躍しながら数々の児童文学作品を生み出しました。



おおishi まこと  
大石 真

退社後は作家生活に専念し、平成2年(1990)9月4日に病気でなくなるまで200冊あまりにも及ぶ作品を執筆し、日本の児童文学界に多くの功績を残しました。

代表作に「チョコレート戦争」「さとの自転車」「教室205」などがあります。

■和太鼓会 和光太鼓

和太鼓会 和光太鼓は、昭和 50 年に和光市内及び近郊の盆踊りや祭りイベントなどで和太鼓を使った創作音楽の演奏活動を中心に行う会として和光太鼓連盟という名称で発足しました。その後、現会名への改名と同時に活動範囲を広げ、東京国立劇場を始め、イタ



和太鼓会 和光太鼓

リア ローマ、イギリス ロンドンでの演奏公演などすばらしい経験を積まれてきました。近年では更に活動の範囲も広がり、国内では浅草三社祭、箱根湖水祭など埼玉県のみならず各地様々な恒例イベントに参加されており、また、海外ではアメリカサンフランシスコ、レバノン共和国ベイルート、中国北京での公演など、大きな舞台で活躍されています。その他にも、近郊の学校や他の団体への太鼓指導、文化庁関連の和太鼓教室等に、和太鼓の良さを伝えるため、指導もされています。

今後も「和太鼓に対する“心”を持ち太鼓道を誇り、地元の名声につながるよう努めていくと共に、和太鼓という伝統文化を伝承し、地域社会に貢献してまいります。」という意気込みに対し、市民からは“市の文化資源”として、会の更なる活躍に大きな期待が寄せられています。

■和光市民歌

光をだいて生きるまち

あ お さ み な ぎ る そ ら と み ず と  
 み ど り の だ い ー ち い き が い あ ふ れ  
 ひ と り ひ と り に う た が わ く あ か る く よ び あ う あ い が わ く  
 ふ れ あ い わ こ ー う さ わ や か ー に  
 ひ か り を だ い ー て い き る ま ー ち

(三) きょうが楽しい 朝のちまた  
 未来の地図を この手でえがき  
 ここにつくろう しあわせの  
 尽きない 消えない わが泉  
 ふれあい和光 さわやかに  
 光をだいて 生きるまち

(二) いのち燃えたつ 天のいちよう  
 豊かに咲くよ 地上の さつき  
 白子 新倉 ふるさとの  
 むかしが 心に 灯をともし  
 ふれあい和光 さわやかに  
 光をだいて 生きるまち

(一) あおさみなぎる 空と 水と  
 みどりの大地 生きがいあふれ  
 ひとりひとりに うたが湧く  
 明るく 呼び合う 愛が湧く  
 ふれあい和光 さわやかに  
 光をだいて 生きるまち

宮沢章二作詩／押尾 司作・編曲  
 和光市民歌  
**光をだいて生きるまち**  
 ポニージャックス  
 新室内オーケストラ

## ■和光市民文化センター『サンアゼリア』

和光市民文化センターは、平成5年4月にオープンしました。

大小2つのホールがあり、大ホールは1286席を有する中規模ホールとなっています。あらゆる舞台芸術に対応可能な多目的ホールで、特に音響設備に優れていて、素晴らしいステージを楽しむことができます。童謡や歌謡曲、オーケストラコンサート、バレエ、オペラ、歌舞伎など多くの催し物が開催されています。



サンアゼリア



大ホール（客席側）

### 《施設概要》

大ホール、小ホール、企画展示室、展示ホール、リハーサル室、練習室(和・洋)、会議室 A・B、ホール附属室(楽屋)

#### 1 利用状況(延人数)

	大ホール	小ホール
平成18年度	92,239人	19,605人
平成17年度	100,414人	19,563人

#### 2 自主文化事業

	実績
平成18年度	50事業（うち共催事業18事業）
平成17年度	53事業（うち共催事業18事業）

#### 3 サンアゼリア友の会

	個人会員	団体会員	合計
平成18年度	1,351人	102人	1,453人
平成17年度	1,276人	126人	1,402人

## ■公民館

### ○ 中央公民館

#### 《施設概要》

会議室1・2・3、講義室1・2、美術工作室、  
視聴覚室、音楽室、和室、調理実習室、  
体育室、子ども室、団体交流室、図書室



### ○ 坂下公民館

#### 《施設概要》

本館：会議室1、和室、調理実習室、図書室、  
講堂兼体育室

別館：会議室2・3、視聴覚室



### ○ 南公民館

#### 《施設概要》

会議室、和室1・2、調理実習室、視聴覚室、  
美術工作室、体育室兼講堂、図書室、  
レクリエーション広場



## 1 利用状況

### 《平成18年度》

	公共・公共的団体	社会教育団体	公民館事業	一般	合計
中央公民館	301件	5,304件	277件	139件	6,021件
	8,532人	74,543人	4,777人	2,813人	90,665人
坂下公民館	209件	1,728件	183件	69件	2,189件
	3,549人	17,974人	5,560人	968人	28,051人
南公民館	131件	2,780件	379件	53件	3,343件
	3,912人	35,260人	7,408人	493人	47,073人
合計	641件	9,812件	839件	261件	11,553件
	15,993人	127,777人	17,745人	4,274人	165,789人

《平成 17 年度》

	公共・公共的団体	社会教育団体	公民館事業	一 般	合 計
中央公民館	264 件	5,140 件	174 件	190 件	5,768 件
	6,897 人	72,030 人	3,113 人	3,390 人	85,430 人
坂下公民館	241 件	2,859 件	287 件	65 件	3,452 件
	4,171 人	32,915 人	5,128 人	699 人	42,913 人
南 公 民 館	169 件	1,563 件	223 件	47 件	2,002 件
	2,820 人	16,978 人	8,620 人	397 人	28,815 人
合 計	674 件	9,562 件	684 件	302 件	11,222 件
	13,888 人	121,923 人	16,861 人	4,486 人	157,158 人

公共・公共的団体 市役所関係、教育委員会関係、社会福祉協議会、自治会、青色申告会等

社会教育関係団体 文化団体、PTA 連合会、体育協会、ボーイスカウト、自主クラブ

公民館事業 公民館主催の講座・学級・教室・会議等

一 般 有料団体

## 2 公民館サークル活動

《平成 18 年度》

公 民 館	サークル数
中央公民館	166
坂下公民館	53
南 公 民 館	89
合 計	308

《平成 17 年度》

公 民 館	サークル数
中央公民館	176
坂下公民館	56
南 公 民 館	89
合 計	321

### ■和光樹林公園

和光市駅から、南へ 1.5km に位置する和光樹林公園は、昭和 20 年米軍に接收された「キャンプ朝霞」の跡地の一部に、快適な住環境の確保と、美しい都市景観の創出を図る公園として計画されました。

平成元年 3 月、多目的利用が可能な広場を整備し、スポーツ・レクリエーションの場として、また広域避難地として整備、開設されました。園内中央に森林があり、その周りを 1 キロほどのジョギングコースが 2 つ周回しています。

平成 19 年 5 月には、園内東側に和光市総合体育館がオープンしました。地域のすべてのひとが安心して楽しめる、快適で充実した総合スポーツ施設として市民に親しまれています。



## Ⅱ 市民文化団体意識調査結果

### 市民文化団体のみなさんにお尋ねします！

～(仮)和光市文化振興基本方針の策定に向けて～ 集計結果

- 1 実施対象 市内公民館の登録団体(文化活動団体)、(財)和光市文化振興公社の共催団体
- 2 実施期間 平成19年9月25日～10月11日の17日間
- 3 回収数 52 ※実際回収数は53であるが、スポーツ活動団体のため、数に含めない

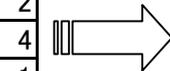
○貴団体についてお聞きします

問1-1 貴団体はどのような分野で活動していますか。(○印は一つ)

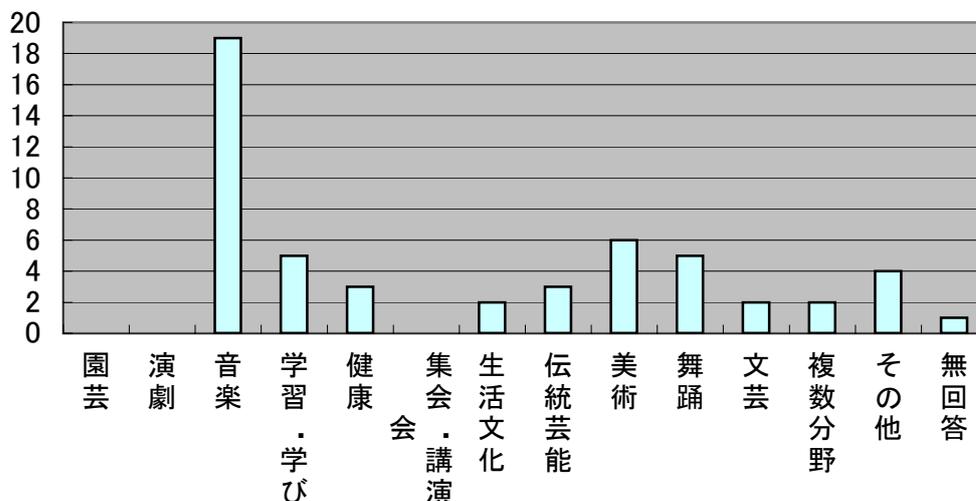
分野	
1 園芸	0
2 演劇	0
3 音楽	19
4 学習・学び	5
5 健康	3
6 集会・講演会	0
7 生活文化	2
8 伝統芸能	3
9 美術	6
10 舞踊	5
11 文芸	2
12 複数分野	2
13 その他	4
14 無回答	1
合計	52

具体的に

・陶芸  
・療育  
・映画上映

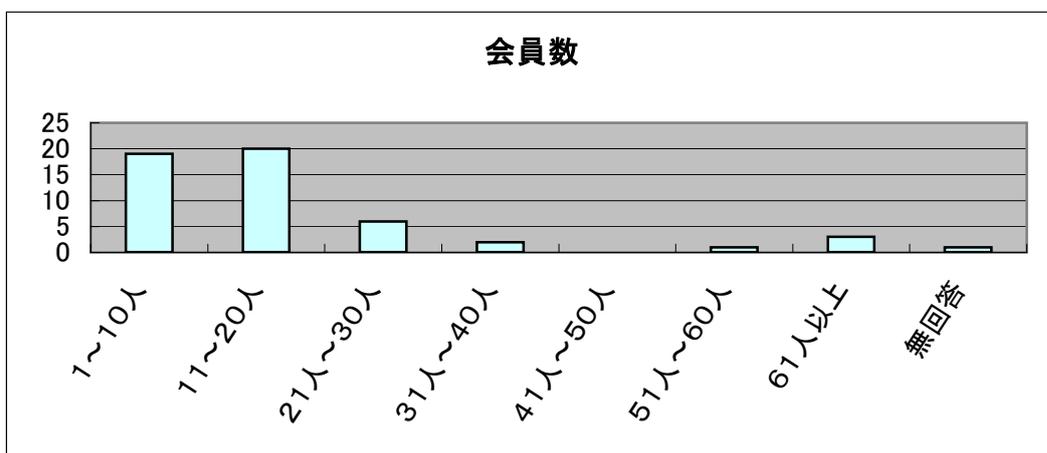


どのような分野で活動しているか？



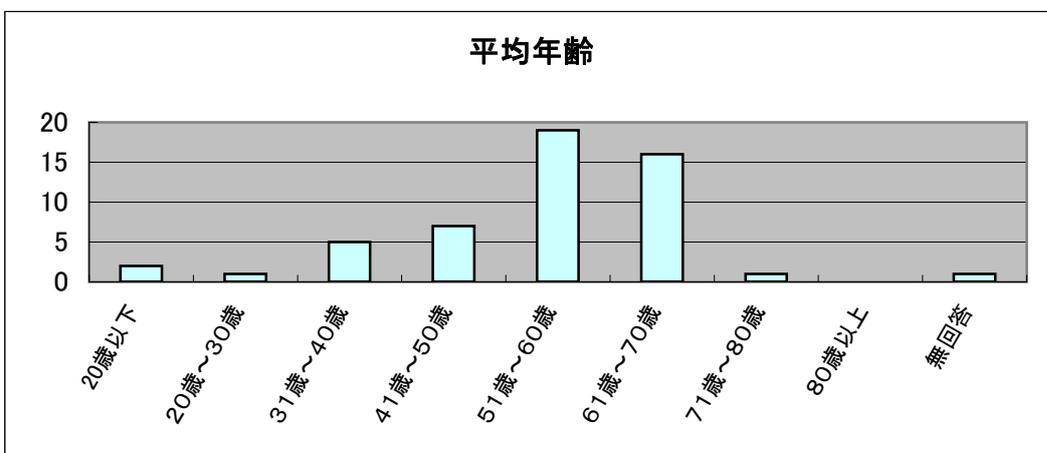
問1-2 貴団体の会員数を教えてください。

1～10人	19
11～20人	20
21人～30人	6
31人～40人	2
41人～50人	0
51人～60人	1
61人以上	3
無回答	1
合計	52



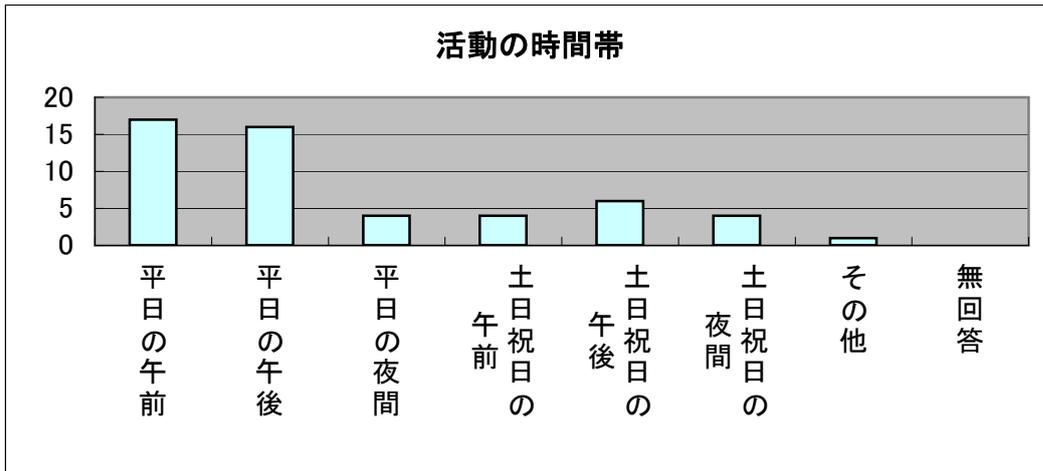
問1-3 貴団体の平均年齢は何歳ですか。

20歳以下	2
20歳～30歳	1
31歳～40歳	5
41歳～50歳	7
51歳～60歳	19
61歳～70歳	16
71歳～80歳	1
80歳以上	0
無回答	1
合計	52



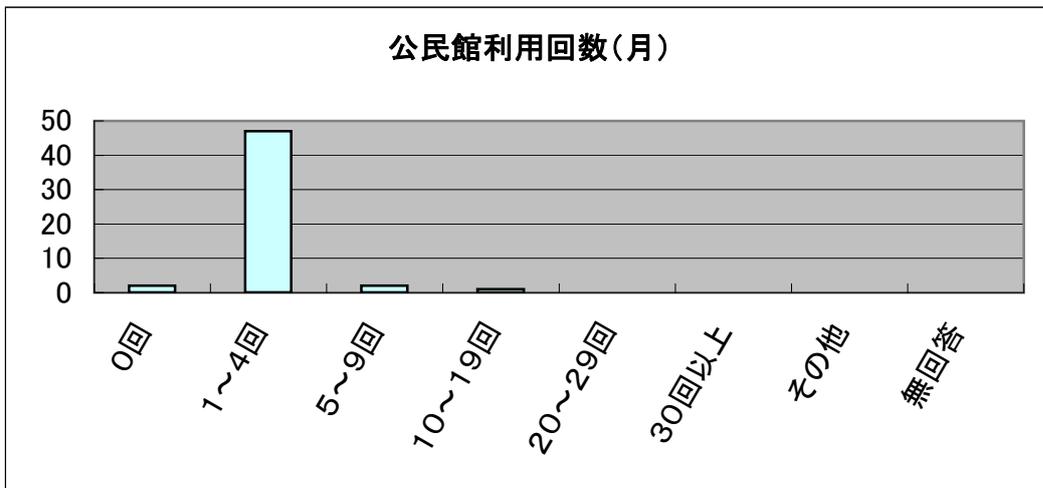
問1-4 活動の曜日・時間帯はいつが多いですか。(○印は一つ)

平日の午前	17
平日の午後	16
平日の夜間	4
土日祝日の午前	4
土日祝日の午後	6
土日祝日の夜間	4
その他	1
無回答	0
合計	52



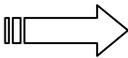
問1-5 活動拠点として、公民館を月何回利用しますか。(○印は一つ)

0回	2
1~4回	47
5~9回	2
10~19回	1
20~29回	0
30回以上	0
その他	0
無回答	0
合計	52

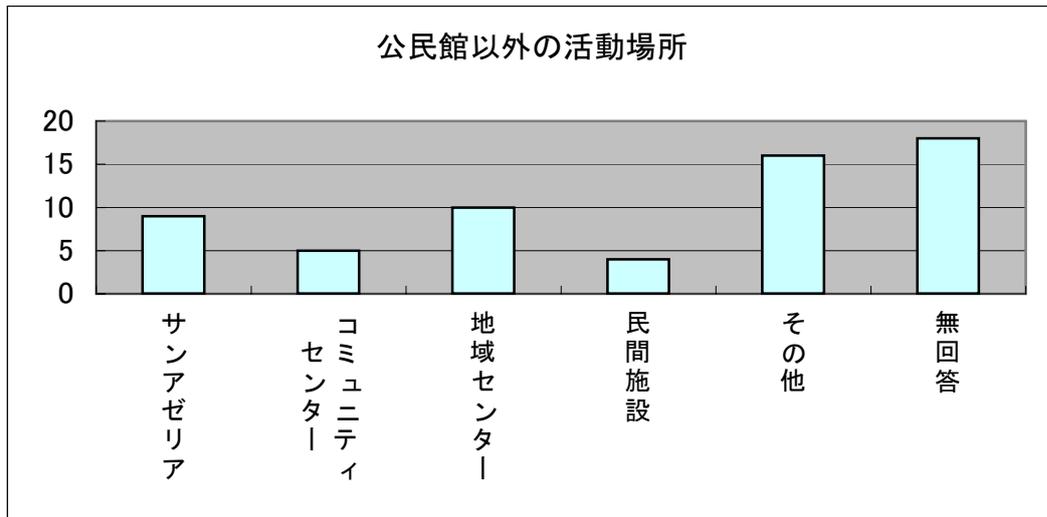


問1-6 公民館以外どのような場所で活動していますか。

サンアゼリア	9
コミュニティセンター	5
地域センター	10
民間施設	4
その他	16
無回答	18



屋外写生、新国立美術館、都美術館、ゆめあい和光、シーアイハイツ集合棟、吟行地、勤労青少年ホーム、高齢者福祉センター、和光苑、代々木青少年スポーツセンター、屋外の野山や公園、文化会館、市民まつり、農業祭、演奏施設を有する公共ホール、研修参加、福祉園、老人ホーム



○和光市の文化についてお聞きします

問2-1 「和光市の文化(資源)」に思いあたるものを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

湧き水	35
大石真	8
たくさんの社寺	17
サンアゼリア	29
清水かつら	31
新倉ふるさと民家園	17
ホンダのアシモ	18
ささら獅子舞	19
白子囃子	17
長屋門	12
大いちょう	23
国の施設	10
樹林公園	31
旧川越街道	19
駅北口壁画	7
遺跡や土器	10
長泉の酒蔵	4
代官屋敷	9
白子宿	23
馬頭観音	15
新河岸川の舟運	6

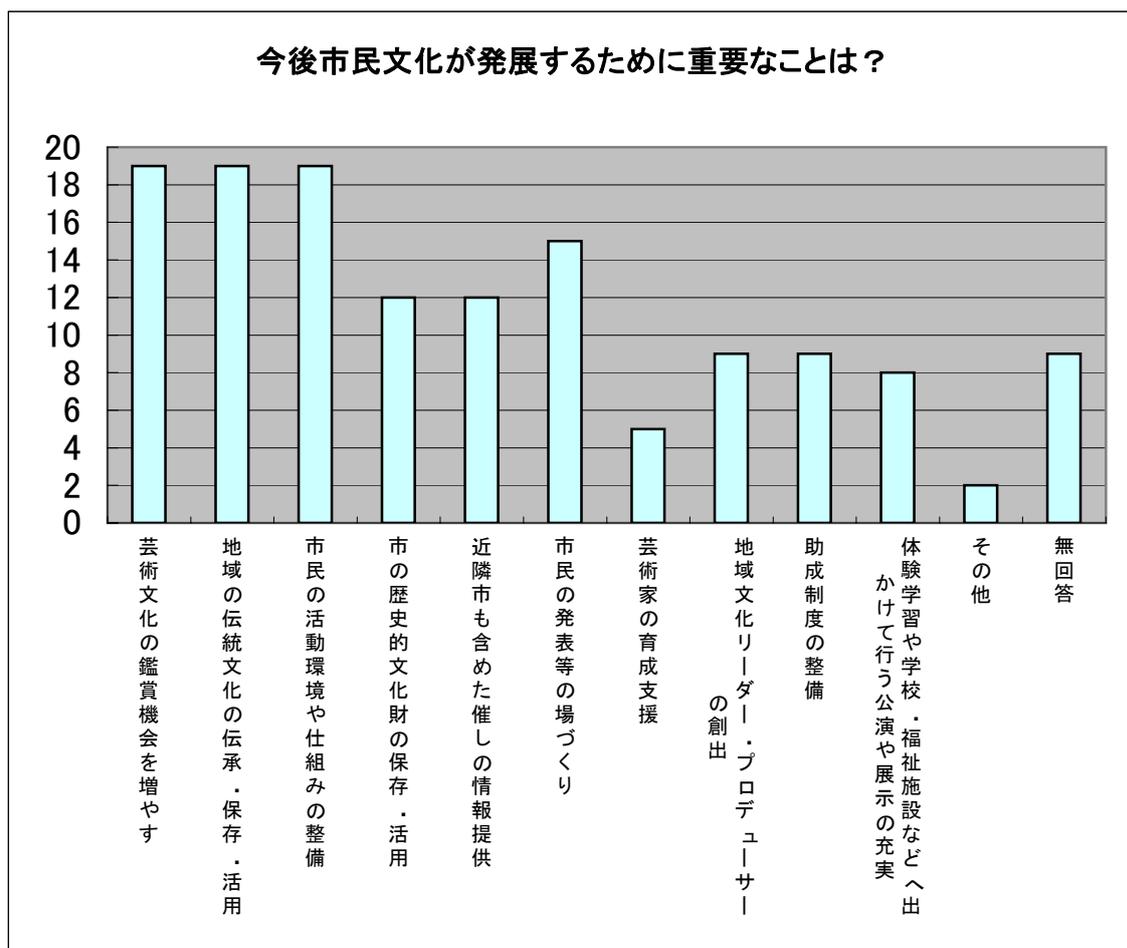
百庚申	6
和光太鼓	27
理研の最先端技術	26
米軍のアンテナ基地	14
その他	
無回答	8

第1位	湧き水
第2位	清水かつら、樹林公園
第4位	サンアゼリア
第5位	和光太鼓
第6位	理研の最先端技術
第7位	大いちょう、白子宿

問2-2 今後、市民文化が発展し続けるために、どのようなことが重要であると思いますか。(○印は3つまで)

芸術文化の鑑賞機会を増やす	19
地域の伝統文化の伝承・保存・活用	19
市民の活動環境や仕組みの整備	19
市の歴史的文化財の保存・活用	12
近隣市も含めた催しの情報提供	12
市民の発表等の場づくり	15
芸術家の育成支援	5
地域文化リーダー・プロデューサーの創出	9
助成制度の整備	9
体験学習や学校・福祉施設などへ出かけて行う公演や展示の充実	8
その他	2
無回答	9

・特に子どもたちへのアプローチが必要に感じます。少なすぎます。新鮮な感動づくりは我々大人が与えるべきと！  
 ・学校の空き教室を外部に開放する

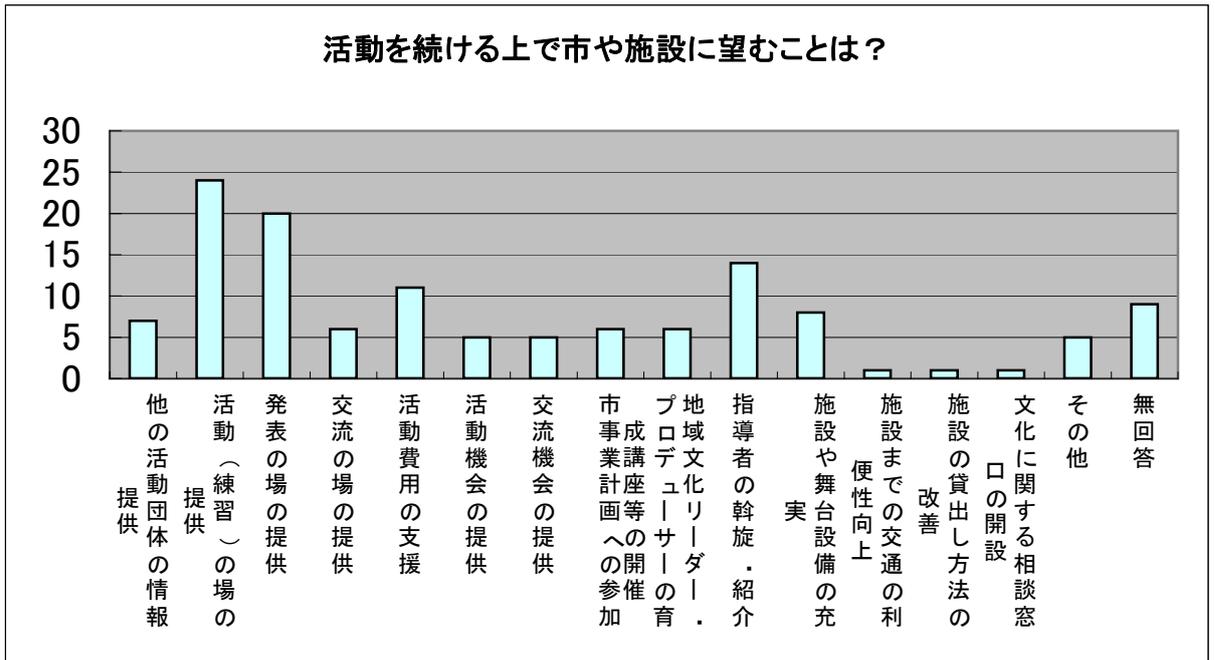


問2-3 活動を続けていく上で、市や施設に望むことはありますか。(○印は3つまで)

他の活動団体の情報提供	7
活動(練習)の場の提供	24
発表の場の提供	20
交流の場の提供	6
活動費用の支援	11
活動機会の提供	5
交流機会の提供	5
市事業計画への参加	6
地域文化リーダー・プロデューサーの育成講座等の開催	6
指導者の斡旋・紹介	14
施設や舞台設備の充実	8
施設までの交通の利便性向上	1
施設の貸出し方法の改善	1
文化に関する相談窓口の開設	1
その他	5
無回答	9



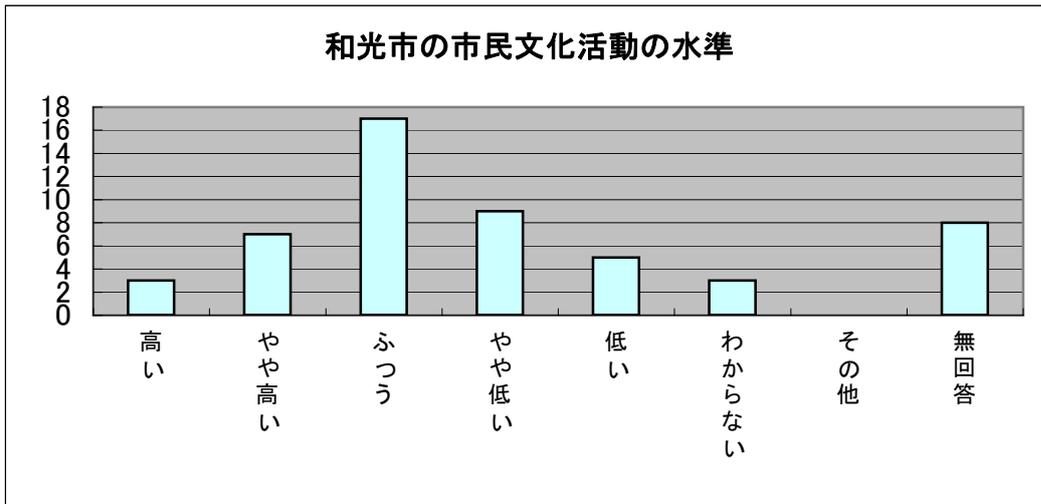
- ・ベビーシッター、ファミサポの充実(土曜の夜間)
- ・市民のアゼリア使用の年一回の使用料の改善
- ・文化活動の情報提供が市民に対し少ない
- ・美術の県内一の発表の場である県展に対して、入選作品の何らかの形で発表をして、市民にアピールしてほしい。(朝霞市の県展入選作品発表の立派なチラシが、何の発表もしない和光市公民館に置いてあるのを不思議な気持ちで見ました。)今年度の和光市の入選数の少なさに驚いた者として、毎年のように入選されていた実力のある方も今年は出品されていませんでした。朝霞市のように、後のフォローが良ければ、県展に出品しようと思ひ、和光の文化発展に進むのではないのでしょうか。？市役所の方で、県展を見に行かれた方はおいでになるのでしょうか。市民にどう発表しようかと考えなかったのでしょうか。広報にすら発表はありませんでした。:参考 07年県展(招待を除く)入選者:入選者数 和光市5人、朝霞市19人、志木市13人、新座市23人
- ・市民団体の活動に関心をもっていたきたい。どんな団体なのか、どのような活動を行っているのか。足を運べる場所なら、出向いていただきたい。



○和光市の文化水準についてお聞きします

問3-1 和光市の市民文化活動の水準は高いと思いますか。(○印は一つ)

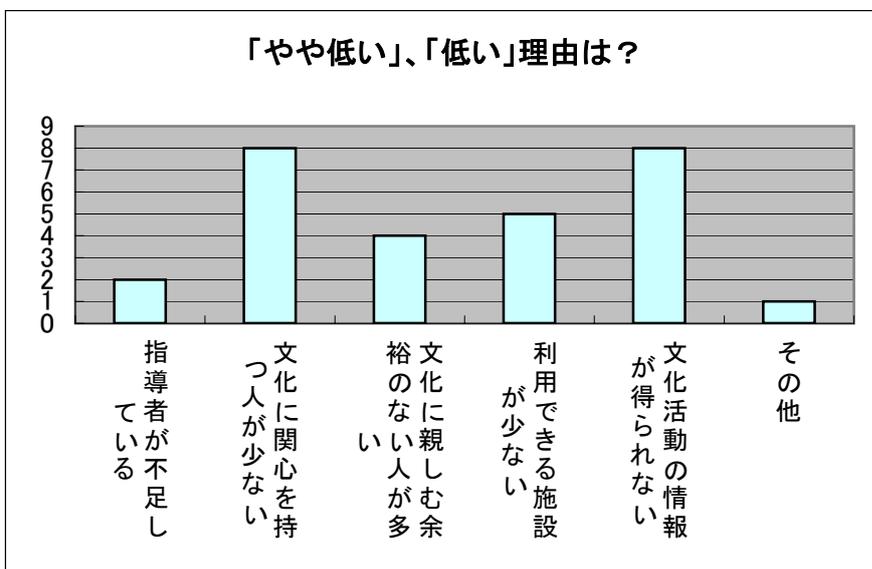
高い	3
やや高い	7
ふつう	17
やや低い	9
低い	5
わからない	3
その他	0
無回答	8
合計	52



問3-1-1 問1で「やや低い」、「低い」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

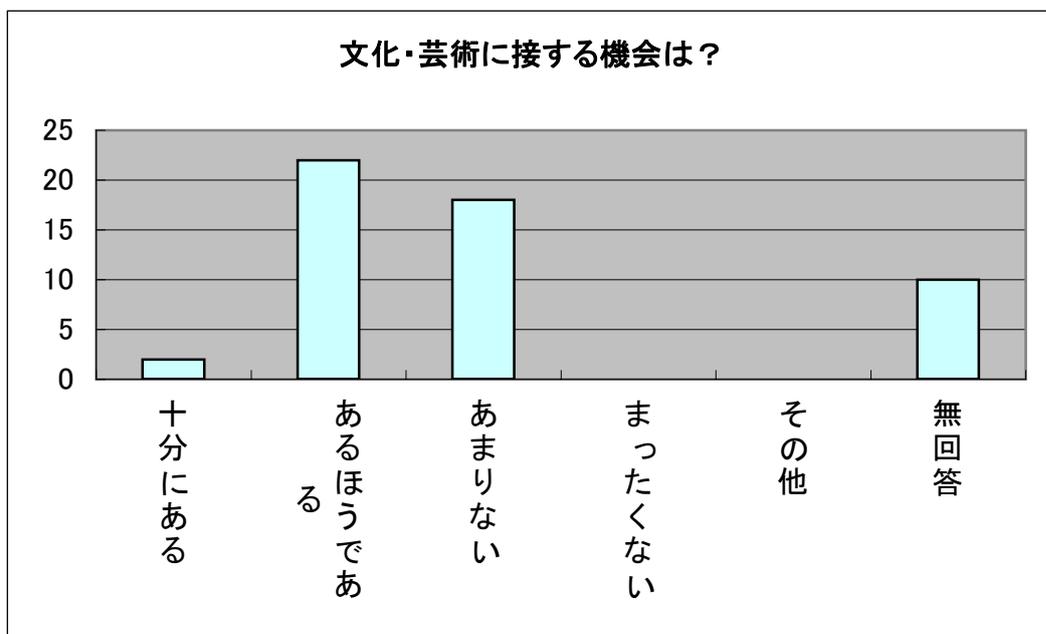
指導者が不足している	2
文化に関心を持つ人が少ない	8
文化に親しむ余裕のない人が多い	4
利用できる施設が少ない	5
文化活動の情報が得られない	8
その他	1

- ・他の市は発表会の時、全般的にサポートしてくれている。協力性にとぼしい。PRの方法が悪い。
- ・近隣の図書館の方が充実している
- ・各市民団体の文化が低いというわけではなく、その市民の文化活動が低いということです



問3-2 和光市内で優れた文化・芸術に接する機会は十分にあると思いますか。  
 (○印は一つ)

十分にある	2
あるほうである	22
あまりない	18
まったくない	0
その他	0
無回答	10
合計	52



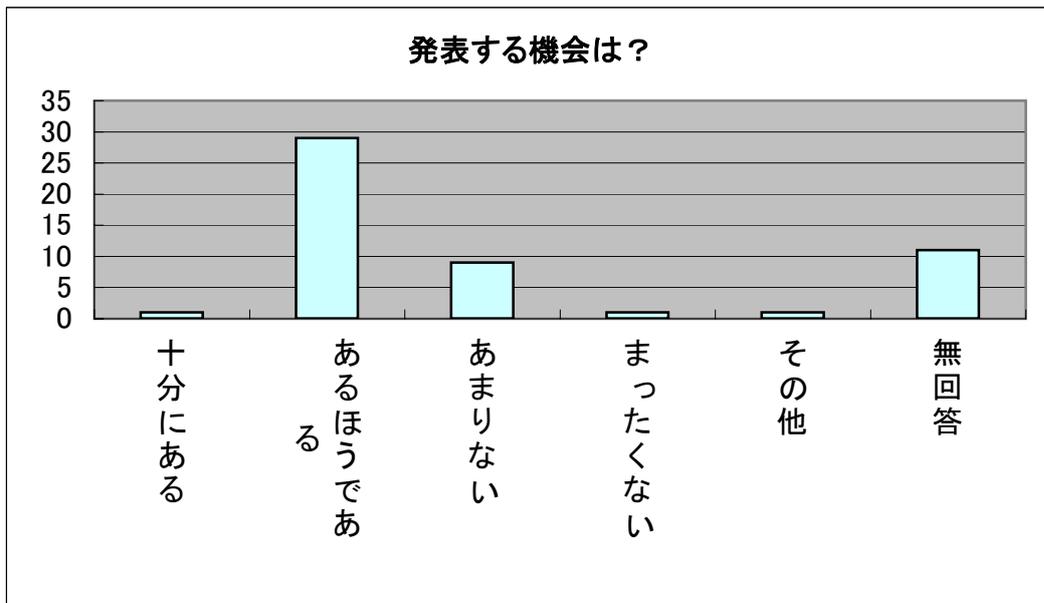
問3-2-1 問3-2で「あまりない」、「まったくない」と答えた方にお聞きします。  
 その理由は何ですか。

- ・広報紙よりの情報のみ
- ・高齢者が動きやすい交通の便をもっと良くしてほしい
- ・PR不足のため、接しようと思うときには終わっている
- ・同好会の発表の場は十分にあると思いますが(市民まつりや公民館まつりなどで)、それぞれの部門での優れた方々の作品を発表して市民に見てもらう場がほしい。(日展や二科展、国華展などの入選した方々の作品を)
- ・都内に近い
- ・もっと広げてほしい。参加しやすい場。
- ・プロの先生が少ない。少ない講師料で教えてくれる先生の紹介してほしい。その名簿を公開希望します。
- ・なかなか情報が得られない。文化・芸術が一緒くたんでわかりづらい。
- ・文化・芸術に接する機会はあまりない。都会に出たほうがいろいろあるし、情報もある。
- ・立派な施設(サンアゼリア・公民館等)があるが、有効に活用されていない。
- ・受け取る側、市民の関心度が低い。接する機会が少ないと思われる。都内に近いために、より充実した催し物等を都内に求めているように見られる。また、子どもが興味を持ったとしても、親と同じ行動をとらなければならなかったり、塾やスポーツサークル活動参加に時間が費やされてしまう。

問3-3 自分が習得した文化芸術を発表する機会が十分にあると思いますか。  
 (○印は一つ)

十分にある	1
あるほうである	29
あまりない	9
まったくない	1
その他	1
無回答	11
合計	52

⇒ ・必要がない



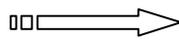
問3-3-1 問3-3で「あまりない」、「まったくない」と答えた方にお聞きします。  
 その理由は何ですか。また、どうすれば解決できると思いますか。

- ・発表の場の提供と情報の充実。
- ・費用の援助
- ・市の施設の他に国の施設等にも市民に利用できる機会を作る。司法研修所、税務大学校等の立派な施設を市民ができる機会を作る様に市が国に交渉する
- ・発表(美術作品等)の場の増加と参画しやすい場
- ・広報によるPR不足
- ・ミニコンサートができる様な場所が欲しいです。中央公民館では部屋が常時空いていない。駅前の空き店舗を利用してコンサート用ミニホールが欲しいです。
- ・発表するものではない
- ・市のイベントにある一部団体が多数出演し、全体の団体には話がない場合が多々見受けられる。市役所内でのこと？

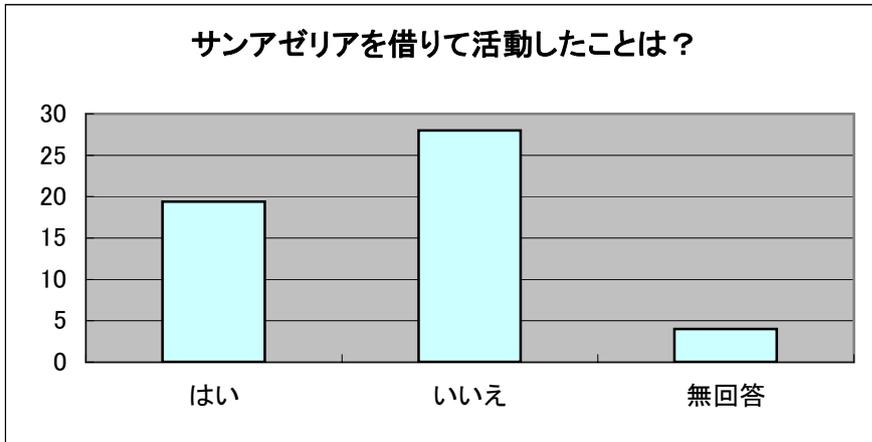
○和光市民文化センター サンゼリア についてお聞きします

問4-1 サンアゼリアを借りて活動したことがありますか。(○印は一つ)

はい	19
いいえ	28
無回答	4
合計	51



1~5回	7
6~10回	1
11回~	3
無回答	9

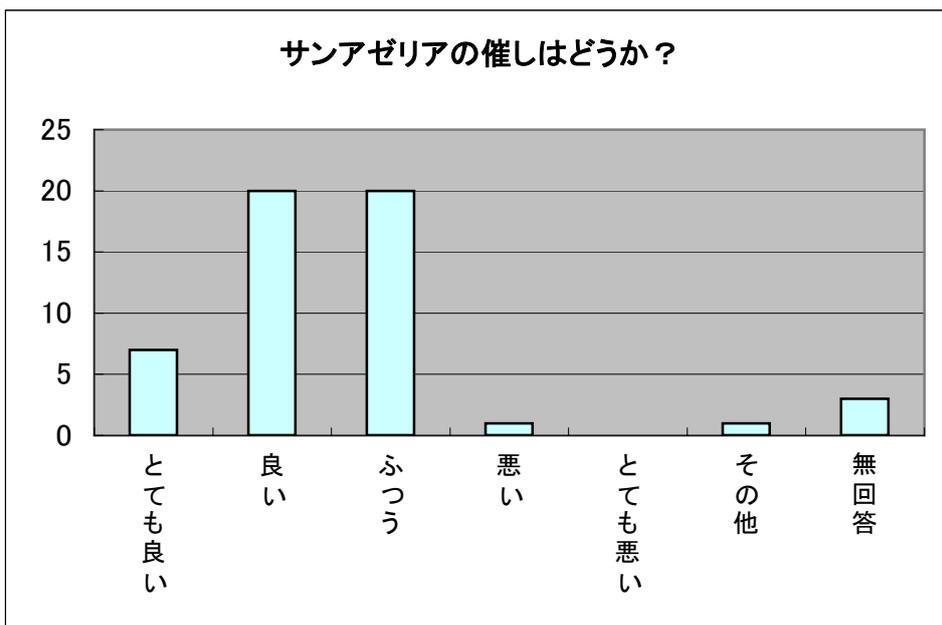


問4-2 サンアゼリアで行っているコンサートや演劇などの催しをどう思いますか (○印は一つ)

とても良い	7
良い	20
ふつう	20
悪い	1
とても悪い	0
その他	1
無回答	3
合計	52



・良質で安価な催しを作る努力が足りない



問4-2-1 問4-2で「悪い」「とても悪い」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

ジャンルにかたよりのある	
チケット料金が低い	
開演時間が早い又は遅い	
興味のない催しが多い	
その他	1
無回答	

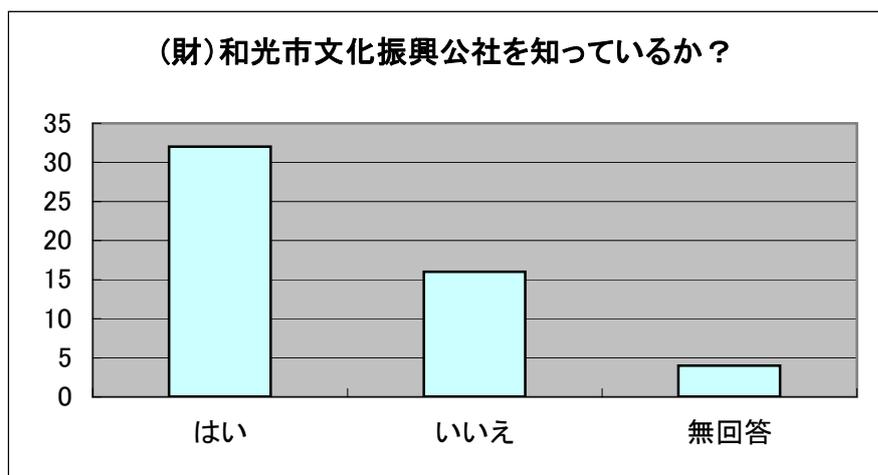


・他の公的施設の良い企画を見習うこと

○財団法人和光市文化振興公社についてお聞きします

問5-1 財団法人和光市文化振興公社を知っていましたか。(○印は一つ)

はい	32
いいえ	16
無回答	4
合計	52



問5-2 財団法人和光市文化振興公社が今後、市の文化振興にどのように貢献していけばよいと思いますか。

- ・特色のある文化的な活動が少ない感じがします。
- ・控えめな方々の参加ができやすい場を。※高齢者のプールでのいじめ対策を！
- ・関係団体ばかりに優遇することをやめ、市民活動団体の把握に努めて欲しい。
- ・わかりません
- ・和光市の文化活動を盛り上げようと本気で考えるリーダーと共に市民参加型の催し物を企画。共に創ろうという情熱が必要と思われます。それには、市民のコンサート他を見聞きし、何が本当に市民の心を動かしているのか、何を市民がやりたいと思っているのかを知って頂く事だと思えます。
- ・市民と共に企画し催す機会を増やし、お互いの向上を図る。市内の音楽サークルをまとめて、例えば合唱連盟、音楽協会という組織を作り、公社と共に文化を振興していく組織を作ってみては…。
- 将来の文化人口のために、子どもや若い人たちの参加できること、興味を持ってもらえる場の提供。和光には、伝統文化、詩吟、民謡等に関係している方々もみられる(公民館やコミセンで活動している)ので、幅広い意味での文化を考えていってほしいと思えます。
- ・駅前をもっときれいにし、観光の町、和光市をアピールするのは無理か？モニュメントの設立・多種多様の特色の催し期待します。
- ・年一回、サンアゼリア大ホールを借り、コンサートを行っています。リハーサルのために1回借ります。
- ・期間を区切って重点的に関連ある催し物を企画する。設立の趣旨から考えて、料金を低く設定すべき。
- ・①公社の運営に市民及び各種市民団体にもっと企画させて欲しい。②文化団体連合会等の横の連絡組織を現状に合わせた形にして、公社との連携を強化する。③市制40周年、50周年等に向けた長期文化活動のプランを作る。
- ・内容的に良い催しでも観客数の乏しいのが気にかかります。(特にクラシック)駅から少し離れている立地条件もあり、遠方から幅広く客層を集める方法の一つとして、バス料金(中学校前までを下げてもらう)のも名案だと思います。120円程度に。(ミュージズ、春日部市民会館のように…)市の循環バスを使用するとか。
- ・様々な催しを開催し、全ての市民生活にうるおいと楽しみが得られるようにする。
- ・市内でサークル等に参加しているグループを取り上げ、市の催し物に発表の場を作って頂ければ、各自サークルで発表会みたいな行事はしていますが、もう少し市が主になり一堂に集め、市内サークルの集いみたいな形でくださると励みになります。
- ・ご協力の程、よろしくお願い致します。
- ・第一に思いますことは、各行政との中身のある連携を行い意義のある催しを企画し、それに市民が関わり合って行ける…そんな真の協働を望みます。今は市民として限られた人材でひらめく発想に乏しさを感じます。和光市における文化を担う文化振興公社の位置の向上のため、市内各地域へのアピールが必要では？特色ある文化で活性化できることで和光市は代わることができるのではないのでしょうか？
- ・公社の主体で芸能大会の募集。
- ・子どもとお年寄りに目を向けた活動。特に手のかかる幼児も、お母さんたちが参加できるように。参加したくてもできない方が多いと思えます。

### Ⅲ 基本方針ができるまで

日 程	内 容
～10月上旬	和光市文化振興基本方針策定協力者会議①～③ (アドバイザーと人権文化課)
	地域づくりアドバイザー事業① (アドバイザーと人権文化課)
10月15日(月)	<u>第1回策定委員会</u> 「和光市文化振興基本方針」現在までの経緯の説明、「和光市文化振興基本方針(事務局案)」について意見交換 (地域づくりアドバイザー事業②)
12月5日(水)	<u>第2回策定委員会</u> 「和光市文化振興基本方針(事務局案)」に対する意見交換及び素案の作成 (地域づくりアドバイザー事業③)
1月1日(火)～ 25日(金)	「和光市文化振興基本方針」に対するパブリック・コメントの募集
2月18日(月)	<u>第3回策定委員会</u> パブリック・コメントの結果を含めた意見交換、市長に提出する原案の作成 (地域づくりアドバイザー事業④)
2月22日(金)	地域づくりアドバイザー事業⑤ (アドバイザーと人権文化課) 第3回策定委員会で作成された原案の最終調整
3月13日(木)	パブリック・コメントの結果公表
3月26日(水)	市長へ原案の提出
3月31日(月)	「和光市文化振興基本方針」の策定

※地域づくりアドバイザー事業とは、財団法人地域活性化センターが、各市町村等が行う自主的・主体的な地域づくりに対する支援の一環として、地域の活性化を推進するため適切な助言を行う各分野の専門家等の受け入れに要する経費の助成を行っている事業を指します。和光市の場合、本基本方針の策定に係る専門家として佐藤克明先生をアドバイザーとしてお迎えしました。

## IV 和光市文化振興基本方針策定委員会

◎は委員長、○は副委員長

職名	氏名	備考
1号委員	○ 福島 明夫	青年劇場代表・(社)日本劇団協議会専務理事
	永島 茜	武庫川女子大学非常勤講師・早稲田大学演劇博物館 GCOE 研究員
	風間 奏恵	豊島区文化観光課文化芸術担当
2号委員	山田 智好	和光市文化団体連合会会長(市民)
	◎ 谷 禮子	みどりのそよ風児童合唱団代表(市民文化団体)
3号委員	布施 忠良	和光市民文化センター運営委員会委員(市民)
	中山 千秋	(財)和光市文化振興公社事務局長
4号委員	山崎 悟	和光市企画部政策課長
	牧野 里行	和光市企画部人権文化課長
	柳下 昇	和光市教育委員会事務局 生涯学習課長

アドバイザー	佐藤 克明	(社)公立文化施設協会アドバイザー・音楽評論家
--------	-------	-------------------------

【事務局】 人権文化課 文化国際担当



第1回地域づくりアドバイザー事業  
(H19.10.02開催)のようす



第2回策定委員会(H19.12.05開催)のようす